

(2) 専門科目 (園芸学科)

科目名	病虫害防除概論	開講時期	1 年 生 後 期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	就技室：鍛冶原	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)病虫害等の発生要因と防除対策に関する学修 (2)環境に配慮した総合的病虫害管理に関する学修 (3)農薬の適正使用に関する学習					
身に付ける力	(1)病虫害等の防除対策に関する基礎知識 (2)農薬の適正な使用方法					
到達目標	(1)病虫害等による被害を最小限に抑えるための防除対策を講じることができる (2)農薬を適正に使用することができる					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	病虫害防除の基礎	2			
	2	病害の発病条件と防除法	2			
	3	害虫の生態と防除法	2			
	4	雑草の防除法	2			
	5	病虫害の診断法	2			
	6	農薬の基礎知識と適正使用	2			
	7	総合的病虫害管理技術について	2			
	8	定期試験	1			
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材	新版 病気・害虫の出方と農薬選び 農文協					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点: 「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	植物育種	開講時期	1年生 通年			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	30 時間			
担当者名	就技室:松井、園芸課:貞光、農技C研究員	単位数	2 単位			
科目の概要	植物の繁殖方法や組織培養法に係る基礎的知識および山口県オリジナル品種の育成に関する学修					
身に付ける力	園芸作物の育種に関する基礎的知識					
到達目標	(1)園芸作物の育種について基礎的な内容を理解する (2)山口オリジナル品種の育種の内容を理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	植物バイオテクの基礎	2	担当者		
	2	植物の繁殖方法と遺伝子のはたらき	2			
	3	植物組織培養の基礎	4			
	4	品種登録制度の概要	2			
	5	植物バイオテクの実習	6			
	6	県オリジナル品種の育成	13	農技C研究員		
	7	定期試験	1	担当者		
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材	【農業基礎セミナー】植物バイオテクの実際 農文協					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技、思・判・表	80	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	10	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	植物生理	開講時期	1 年 生 後 期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術	時間数	15 時間			
担当者名	園芸課：貞光	単位数	1 単位			
科目の概要	植物の特性、環境要因、栄養等の生理的機能に係る基礎知識および生理生態を活用した栽培管理技術に関する学修					
身に付ける力	実際の栽培管理に活用するための植物生理の基礎知識					
到達目標	植物の生理的機能や栽培管理技術がどのように植物に影響するか理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	植物の位置づけ	1	担当者		
	2	植物細胞・組織・器官の構造	1			
	3	水と溶質の輸送	1			
	4	発生と分化	1			
	5	被子植物の生殖	1			
	6	種子の休眠と発芽	1			
	7	環境要因（光、温度等）と植物の反応	2			
	8	植物ホルモン	1			
	9	物質代謝（ATP、酵素）	1			
	10	呼吸と光合成のしくみ	1			
	11	光合成のタイプと環境要因	2			
	12	窒素同化のしくみ	1			
	13	定期試験	1			
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	80	実技テスト		
	レポート	思・判・表	10	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	10	研修評価		

観点:「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	施設園芸(1年生)	開講時期	1年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力	時間数	17 時間			
担当者名	就技室:木村、農技C研究員	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)施設園芸に係る建物施設の構造・管理方法や各種園芸資材等の特性・使用方法、環境制御法に関する学習					
身に付ける力	(1)施設園芸を実践する上での基礎的知識					
到達目標	(1)施設園芸に係る建物施設の構造及び各園芸資材の基礎的知識を理解する。 (2)冬期加温施設における省エネルギー対策、環境要因及び制御技術を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	施設園芸の概要、メリット・デメリット	2	担当者		
	2	施設の種類と形式	1			
	3	マルチ、べたがけ資材の特徴	1			
	4	被覆資材の機能と特性	1			
	5	農業用使用済みプラスチックの適正処理	4			
	6	施設内環境の特性と制御、光制御	1			
	7	保温の原理	1			
	8	小テスト	1			
	9	湿度、二酸化炭素の管理	1			
	10	視察研修	2			
	11	復習等	1			
	12	筆記試験	1			
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技、思・判・表	80	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	20	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	施設園芸(2年生)	開講時期	2年生後期			
		授業の形態	講義			
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、先端技術への対応力	時間数	22 時間			
担当者名	就技室: 木村、農技C研究員	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)講義、実演を通じたパイプハウス建設に関する学習					
身に付ける力	(1)パイプハウス建設に関する基礎知識・技術					
到達目標	(1)パイプハウスの建設方法を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	パイプハウスの構造と使用工具(講義)	1	担当者		
	2	パイプハウスの建設手順(講義)	1			
	3	部材の準備と印付け(実習)	2			
	4	アーチパイプの挿入・連結(実習)	4			
	5	梁の取付け(実習)	2			
	6	妻柱の建立、ドアの取付け(実習)	4			
	7	筋交いとレールの取付け(実習)	2			
	8	フィルムの被覆(実習)	2			
	9	パイプハウスの解体(実習)	2			
	10	パイプハウス建設のまとめ・振り返り(講義)	1			
	11	筆記試験	1			
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査 レポート	知・技・思・判・表	70	実技テスト 発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	30	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	営農計画	開講時期	2年生 前期			
		授業の形態	講義			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	15 時間			
担当者名	園芸課: 杉山	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)就農に向けた手順や留意点、生活設計、就農支援制度等に係る学修 (2)希望品目での就農計画の作成に係る学修					
身に付ける力	(1)新規就農までのプロセス、支援措置に係る基礎知識 (2)就農計画の作成方法					
到達目標	(1)就農に必要な心構えや留意点を理解する。 (2)新規就農までのプロセス、支援措置を理解する。 (3)具体的な就農計画の作成方法を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数 講師			
	1	円滑な就農に必要なもの、心構え	1 担当者			
	2	就農までのプロセス	1			
	3	就農に必要な基礎知識(基礎用語)	2			
	4	就農に向けた支援策	1			
	5	県内園芸産地の概要	1			
	6	就農に向けた営農計画作成	4			
	7	営農計画作成演習	4			
	8	筆記試験	1			
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技・思・判・表	70	実技テスト		
	レポート			発表・成果物	知・技・思・判・表	20
	授業・実習態度	思・判・表、態度	10	研修評価		

観点:「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	流通販売演習	開講時期	1・2年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマポリシー	経営管理能力	時間数	40 時間			
担当者名	園芸課: 藤山、就技室: 岩本	単位数	2 単位			
科目の概要	(1)青果物・花き流通のしくみに関する学修 (2)卸売市場、直売所等への出荷・調整・販売に関する学修					
身に付ける力	多様な販売方式に対応できる企画力および販売手法					
到達目標	(1)市場及び直売所棟における効果的な販売手法を理解する。 (2)対面販売による消費者ニーズの把握や効果的なPR方法を理解する。					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	販売実習の基本的な心構え・ルール、販売方針検討	2	担当者		
	2	対面販売実施に向けて企画・運営・販売	15			
	3	(周南市道の駅、うめてらす他)				
	4	地域イベント参加による販売	6			
	5	(アジサイまつり、市農林水産業まつり他)				
	6	卸売市場、直売所等への出荷・調製	12			
	7	(防府青果、山口県中央花き、徳山花市場、周南市道の駅				
	8	スマイル防府、JA防府とくち、山口農協直販)				
	9	農産物のPR等、販売手法の検討	5			
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	思・判・表	20	発表・成果物		
	授業・実習態度	知・技・態	80	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	GAP演習	開講時期	2年生 通年			
		授業の形態	演習			
ディプロマ ポリシー	経営管理能力	時間数	20 時間			
担当者名	園芸課：藤山、就技室：鍛冶原、外部講師	単位数	1 単位			
科目の概要	(1)JGAP認証に係る管理点・適合基準に関する学習 (2)JGAP認証に係る自己点検に関する学習 (3)JGAP認証に係る審査対応に関する学修					
身に付ける力	(1)JGAP認証およびGAP実践に係る基礎知識、手法 (2)GAP実践を通じた経営管理手法					
到達目標	(1)JGAP認証制度について理解する (2)食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善手法について理解する (3)JGAP認証審査に係る対応手法について理解する					
授業計画	回	授業内容・方法	時間数	講師		
	1	JGAP認証制度の概要	1	担当者		
	2	JGAP認証に係る管理点・適合基準	3			
	3	食品安全、労働安全に係る自己点検	6			
	4	模擬審査準備	4			
	5	模擬審査(審査対応演習)	6	外部講師		
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態度	100	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度